

この添付文書は、お薬とともに保管し、服用の際には、必ずお読み下さい。

【生薬製剤】

# 安 静 錠

第2類医薬品

- ◆ 安静錠は、胃腸虚弱者の神経衰弱・ヒステリーといった神経症状や胃アトニー（胃の緊張や運動能力が低下した状態）、嘔吐などの胃腸疾患、気管支炎や気管支喘息といった呼吸器系疾患などを改善するために考え出された生薬製剤です。

## ⚠ 使用上の注意



### 相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
  - 医師の治療を受けている人。
  - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
  - 高齢者。
  - 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ

- 1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
- 他の医薬品等を併用する場合には、含有成分の重複に注意する必要があるので、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

## 効能・効果

気鬱症<sup>a)</sup>、胃腸虚弱者の神経衰弱、更年期神経症<sup>b)</sup>、ヒステリー、神経性食道狭窄<sup>c)</sup>、胃アトニー<sup>d)</sup>、肋間神経痛、つわり、嘔吐、気管支炎、気管支喘息<sup>ぜんそく</sup>、浮腫<sup>e)</sup>

- 気鬱症：気分がふさいだ状態のことを示します。
- 更年期神経症：更年期に起こる神経症のことを示します。
- 神経性食道狭窄：食道が狭くなっていると感じるが、実際には狭くなっていない状態を示します。
- 胃アトニー：胃の緊張や運動能力が低下した状態を示します。
- 浮腫：むくみのことを示します。

## 用法・用量

次の量を随時注)、コップ半分以上のぬるま湯にて服用して下さい。

注)「随時服用」とは食前・食間(食後2～3時間)・食後のいつ服用してもよいことを指しますが、胃腸の弱い方は食後の服用がよいでしょう。

年齢	1回量	1日服用回数
成人(15歳以上)	5錠	3回
12歳以上15歳未満	4錠	
7歳以上12歳未満	3錠	
5歳以上7歳未満	2錠	
5歳未満	服用しないこと	

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 用法・用量を厳守すること。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

## 成分・分量

本剤15錠(3.3g)中

コウボク…1.5g	・シヨウキヨウ…1.7g	} エキス…4.3mL (固形物として1g)	コウボク末…1g
ソヨウ…1g	・ハンゲ…3g		ブクリヨウ末…1g
ブクリヨウ…2g			

添加物として軽質無水ケイ酸、ステアリン酸マグネシウム、乳糖を含有する。

- ・本剤は淡褐色で、特異なおいを有し、味はわずかに苦い素錠です。
- ・本剤は天然の生薬を原料としていますので、多少色調の異なることがあります、効果に変わりはありません。

## 保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- (4) 分包品において1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用すること。

## 薬と養生

安静錠は生薬の特性を活かした生薬製剤ですので、あなたの体質や病状を考慮して正しく服用することが大切です。

また、気持ちの持ち方(気の養生)や食生活(食の養生)に注意することも、病気を治すためには大切なことです。

あなたの病気を早く治すため、お薬の服用に際しては、生薬製剤や養生方法のことをご理解いただいている医師やホノミ漢方会々員の薬局・薬店の先生方とよくご相談下さい。

### お問い合わせ先

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、又は下記にお願いします。

剂盛堂薬品株式会社 学術部

電話 073(472)3111(代表)

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00

(土、日、祝日を除く)

製造販売元



剂盛堂薬品株式会社

〒640-8323 和歌山市太田二丁目8番31号